

昭和五十四年三月
飛鳥藤原宮發掘調査出土木簡概報(四)

藤原宮出土木簡(三)

安慶府志

卷之三

丁巳年正月二日

安慶府志

卷之三

卷之三

この概報はさきに公刊した「藤原宮木簡」（昭和52年12月）以後、藤原宮及び藤原京の調査で出土した木簡について、その主要なものを収録した。出土総数は1060点である。

一、木簡出土の地点と状況

第20次調査（6 A J F 昭52・12）

第20次調査は藤原宮大極殿の北で行い、大極殿を囲む北回廊の一部と宮造営以前の道路S F 1920とS F 1731の交叉点、道路S F 1920の東側でそれに並行して南から北に流れる溝S D 1901A等を検出した。木簡は宮造営以前の溝S D 1901Aから出土した。このうち、一部の木簡については先に公刊した「藤原宮出土木簡」に収録している。今回も、同溝からそれ以後に出土した52点について主要なものを収めた。S D 1901Aから出土した木簡は、先に出土した72点と合わせて総数124点である。紀年銘をもつ木簡としては壬午（六八二）、癸未（六八三）、

第23次調査（6 A J H 昭53・8-9）

第23次調査は、橿原市宮日高山住宅の増設工事に伴う事前調査として、藤原京右京七条一坊の推定地で朱雀大路に接する場所で行った。発掘の結果、朱雀大路西側溝の西肩、掘立柱建物1、井戸1、土塙群等を検出した。木簡は井戸S E 2270から削り肩1点が出土した。この井戸からは他に土器、斗鑓型・横櫛・曲物などの木製品、発掘区に隣接する日高山瓦窯の窯体等が出土している。

第24次調査（6 A J B 昭53・9-昭54・2）

第24次調査は、藤原宮の東面北門推定地の南で行い、約2000mを発掘し、宮東面大垣、それに伴う内濠と外濠、掘立柱建物2、掘立柱塚1、溝2、井戸1、土塙1などを検出した。木簡は外濠、内濠、井戸から計1007点出土した。

宮の東外濠S D 170からは338点出土した。S D 170は東面大垣S A 175の東約20mを南から北へ流れる幅約6

mの素掘りの溝である。堆積層は大きく三層に分けられる。上・中層は土器と多量の瓦を含み、木簡は下層から

木片と共に出土した。SD170は昭和43年に奈良県教育委員会によって本調査地の北約200mの所で検出され、

木簡が約50点出土している。また当研究所でも昭和51年に本調査地の南方一ヶ所で検出しており、木簡が合わせて55点出土した。今回出土の木簡で年紀をもつものは丙申(六九六)の一点であるが、大宝令施行後の木簡も含まることは略名記載のものがあることから知られる。

内濠S D2300からは573枚が出土した。SD2300は、

東面大型SA175の西約12mの所を南から北へ流れる幅約2.4mの素掘りの溝である。堆積層は三層で、木簡は下

層から土器・多量の木屑などに混じって出土した。また発掘区の中ほどで溝幅が拡がっている部分があり、この

溝から多くの木簡が出土している。出土木簡のほとんどは削り屑である。

井戸S E2310からは96点が出土した。SE2310はSD

2300の西10mにある径約1.5m、深さ約0.9mの素掘りの井戸である。井戸の下層には大量の木屑が一括して投棄された状態で堆積しており、木簡はこの木屑の中に混じて

出土した。出土した木簡はすべて削り屑で、年紀をもつものは慶雲三年の一例である。

第24次調査出土の木簡の内容で顕著なものとしては、「官奴司」^(官司)「□都支宮奴婢」「橡衣」などの奴婢に関するものをあげることができる。これは特に井戸と内濠から出土したものに目立つており、「安麻呂」「千繩」という奴と思われる人名を書いたものは井戸と内濠の両方から出土している。外濠の場合、井戸や内濠ほど顕著ではないが、それでも「官奴寮」「婢惠美女」などが見られ、これらのことからこの近くに官奴司もしくは奴婢に関する役所があつたのではないかと考えられる。

二、木簡の形態分類

6011型式 短円形。

6015型式 短圓形で、側面に孔を穿ったもの。

6019型式 短圓形と推定できるもの。

6021型式 小型矩形のもの。

6022型式 小型矩形の材の一端を主頭としたもの。

6031型式 長方形の材の両端左右に切りこみをいたるもの。

6032型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいたもの。

6033型式 長方形の材の一端の左右に切り込みをいれ、他端を尖らせたもの。

6039型式 長方形の材の一端の左右に切り込みがあるが、他端は折損あるいは腐蝕して不明のもの。

6051型式 長方形の材の一端を尖らせたもの。

6059型式 長方形の材の一端が尖って他端の形態が不明のもの。

6061型式 用途の明瞭な木製品に墨書のあるもの。

6065型式 ある種の用途をもつと推定される木製品に墨書のあるもので、その用途が判然としないもの。

6081型式 折損、腐蝕その他によって原形の判明しないもの。

6091型式 削屑

三、凡例

以下、出土遺構ごとに本文を掲げる。各遺構から出土した木簡の配列は用途別に記載し、最上段に出土地点（アルファベット・数字）、つきの段に形態分類記号（本概報では千位の6を省き、3ケタで表わす）をそれぞれ記した。・は木簡の表裏をあらわし、「」は別筆を示す。

第二〇次調查

6 AJF-SD 1901 A

KJ 33 · 壬午年十月 □ □ 毛野

□ □

KH 31
011 · 法忿師前 小僧吾白啓者我尻至腸止

僧 □ 者 五百 □

KI 32
021 □ 米一斗六升 □ □

KJ 32
081 □ 甲申年七月三日 □ □

日仕甘於連 □

KI 33
081 □ □ 評大伴マ忌寸廿六以白

KI 33
033 □ 里眷人 □ 表
KJ 32
031 旦波國竹野評 □ □ 里大賈布奈 □
KJ 33
031 癸未年十一月 三野大野評阿漏里
□ □ □

第二三次調查

6 AJH-SE 2270

KI 33
081 (四) □ 月十三日

NH 59
071 □ 首首

第二次調查

6 AJB-SD 170

PD 29 · 番召 □ □

□ 十六 □

PC 29 □ □ □ 右舍人親王宮帳內

PD 29 丙申年 □ 月十日

PC 29 019 · 子曰學而不 □

PD 29 021 右衛士府 □ 曰

□ 不 □ □ □

PD 29 021 · 下番火頭 □ □

PA 29 021 陽胡史 □ □ 婦惠美女

PD 29 021 (神麻績) □ □ □ □ □ □ 四月十日

PB 29 021 · 廿九日壬申 □

PD 29 021 □ □ □ □ □ 九人 三月廿七日

□ □

PD 29 021 · 菌池 (司)

PB 29 021 又一俵

□ □ □ □ □ □ 宮 □

PE 29 081 · 大伴連

□

PA 29 081 · 御宮若子御前恐々謹

末□□□命堅而自知何故

PF 29 081 □日□長谷マ□□
吉備

PA 29 081 一月 日受浅妻□連

PF 29 019 □□□□召坂上□□□□
(直)

PB 29 081 · 少尉船連

針間國造毛人
大勝兄方
申

PF 29 081 田マ連加□□

我我我
莫

PE 29 081 □□□□又□必□□而重

PB 29 081 下道旦臣吉備麻呂

□□知山□□□

PE 29 081 位下少志□

PP 29 081 田邊史牛末呂□

PE 29 081 蔽木マ百枝

PA 29 081 · 價塙二斗

□□□

PG 29 021 · □雪多降而甚寒、

PF 29 019 · 七九六十三 六十二

□一斗 大根四把

□□□□□□□□□□

PG 29

021 · 官奴繫人委文□□□□□

□ □ □ □ □

PG 29 081 · □々□須可調荒堅魚

□□□□□□□□

6AJB-SD 2300

PD 29 021 · 尾治國知多郡贊代里

· 丸マ刀良三斗三年九月廿日

PD 29 019 · 若狹國小丹生郡手巻里人□

PF 29 039 · 志麻國嶋郡塔志里戸主大伴マ嶋

志麻□

PF 29 081 · □家里塙三斗

QG 40 019 · 廣背

PE 40 091	QC 40 091						
春日奴安麻	染	召九人	廣背	大市得万呂	二日	卅四	御史官
年廿一			(月)		□		

TH 40 091	TH 40 091	TH 40 091	QC 40 091	QC 40 091	PF 40 091	PF 40 091	PF 40 091
千繩年	安麻呂	一半伊毛賣	波女	秦伊	年卅	廣瀨	婢一
□	□	□	□	□	□	□	□

PH 40	PG 40	PH 40	PG 40	PG 40
091	091	081	091	091
宮如	大人	刀良	人	弗
		口	口	口
		之安	女	弗
	利市	比	口	麻
	口	詔	ツ	
	殊奈			
飯足二口入字ツ文之二口				

QD 43	QD 43	QD 43	QD 43	PF 40	QC 40
091	091	091	091	031	031
櫟衣一匹	梁安麻呂	官奴司謹奏	膳足	綬海高マ行乃古三斗	三野評物マ色夫知
		位上布師	(音)		
	惠			乃利多	

6AJB-1-SE 2310



QD
43
091

上千繩

QD
43
091

都支宮奴婢^(傳)

QD
43
091

□□□一丈三尺五□

QD
43
091

□□七枚 慶雲三年三月一日

QD
43
091

□系椽二□

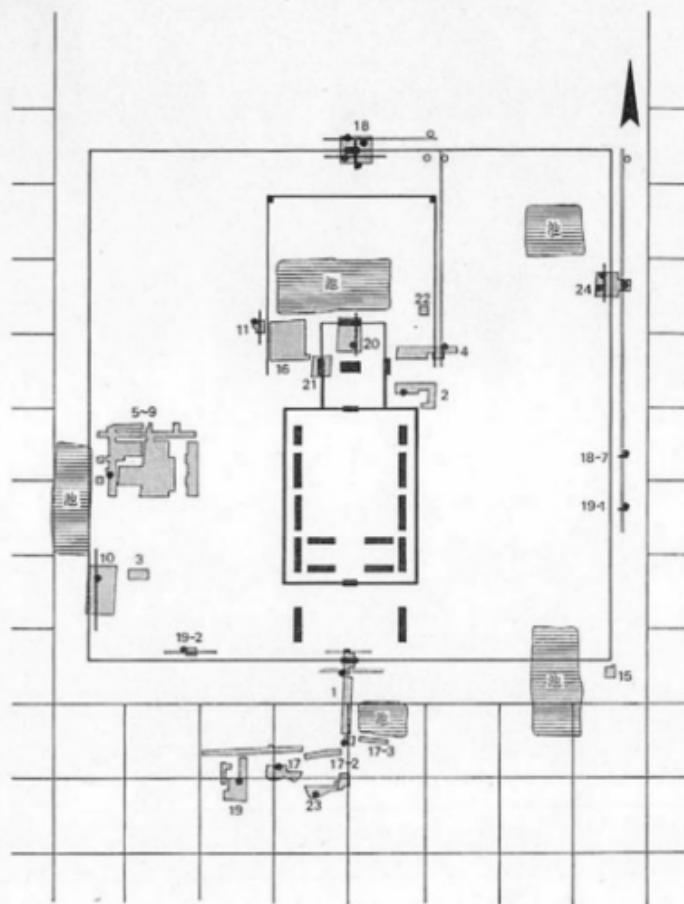
QD
43
091

生系二□

QD
43
091

上伊止志 □

藤原宮木簡出土地点略図



● 文化財研究所調査
○ 奈良県調査
数字：調査次数

第24次調査木簡出土地点略図

